

小学生の陸上教室における練習に対する モチベーションに影響する要因

湯本 瑠衣 (生涯スポーツ学科 地域スポーツコース)
指導教員 村瀬 陽介

キーワード：モチベーション、楽しさ、スポーツ活動、小学生

1. 緒言

スポーツ活動を効果的に行うために、実施者が主体的にやる気を持って実施することが大切である。また、スポーツ活動に対するモチベーションには、楽しさが人間の本能からも重要であるとされている。

本研究の目的は、モチベーションの要因とされている楽しさに着目し、影響があるとされている要因との関係性を調べることで、関係性を明らかにしていくことを目的とした。

2. 研究方法

対象者は、滋賀県〇市の2か所で行われている陸上教室AとBに参加している小学校3年生から6年生の69名(男33名,女37名)を対象に質問用紙での調査を実施した。

調査方法は、学年、性別の他18項目(目標設定、勝利志向性、楽しさ、興味、練習に対する思い、参加理由に関して)の質問用紙による調査を実施した。目標設定、勝利志向性、楽しさの項目は、深見らの研究を参考にした。また、Aの方はBよりも、ふざけている者が多い等の指導者の現場感覚でみられるので各教室の比較も行った。

3. 結果と考察

教室全体と個人の目標、教室の活動で目指すもの、練習レベルの適正(体力面、技術面)、興味等の調査項目が楽しさと独立性は認められなかった。次に、現場感覚でみられたAとBの差については、表1のスポーツ教室の楽しさ、全体の目標認知、個人の目標努力度、練習レベル(技術面)らの項目に関して、Bの

方がAよりも有意に高い値であった。

表1 調査項目と各場所の差

	A		B		t 値
	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	
全体の目標認知	1.1	±0.3	1.3	±0.5	2.14*
個人の目標努力度	1.8	±0.4	2.3	±0.7	2.79*
楽しさ	1.1	±0.7	1.8	±0.4	2.98*
億劫な気持ち	2.9	±0.6	2.5	±0.4	2.24*
練習レベル(技術面)	3.5	±0.6	3.0	±0.7	2.15*

* : p<0.05

スポーツ教室に参加したきっかけについて、Aの参加者は、スポーツ教室参加前、活動への期待が高かった。しかし、スポーツ教室で行われている活動に対して、参加者が考えていた活動とは違っていたため、その結果、練習に対するモチベーションが低くなったと考える。

4. 結論

本研究では、スポーツ教室の活動にモチベーションの要因とされている楽しさを感じる要因に、目標設定、勝利志向性、興味が影響していなかった。教室Aと教室Bの比較から、よりモチベーションが高い教室は、よりスポーツ教室の活動に楽しさを感じ、活動全体の目標を理解して、個人目標に対する努力をしており、練習レベル(技術面)は適正と感じるという特徴がみられた。

引用・参考文献

深見英一郎・岡澤祥訓(2016)運動部活動における目標設定、勝利志向性、意見の反映度の実態並びにそれらが生徒の満足度に及ぼす影響 体育学研究 61, 781-796